

子供のポテンシャルを最大限活用 貧困の連鎖を断ち切るプラットフォームの構築

目 概要

子供の貧困を解決させるにあたり、子供に対する社会保障（国、自治体からの支援）では限定的で限界がある。貧困の根本原因として考えられるのは「家庭の相対的貧困」であり、家庭が貧しいから子供も貧しいという関係性が強い。ならば逆説的に子供には一切の責任はなく、**子供一人一人が本来有するポテンシャルは平等**である。

この**子供が有するポテンシャルこそ「宝の山」**である。と考え、子供の柔軟な発想・アイデアを投資家が購入しビジネスに昇華させ、子供であっても「お金を生み出せる」貧困の根本原因を解決するシステムを構築する。

📌 解決したい課題：アイデアで解決したい課題は何で、それをどうしたいですか？

①貧困による機会の不平等

学習機会やデジタルディバイドによる「成長機会」の損失を防ぐ
貧困と呼ばれてしまう子供であっても一定のスキルを有し、成人後に望む職業選択を可能とする。

②貧困による高度人材不足、それに伴う経済的打撃

連続性がある家庭の貧困（親→子→孫）を断ち切る機会の創出
高度人材育成の一助となることで、家庭の平均収入を向上させ、企業利益・税収を向上させる。

📌 解決方法：課題をどうやって解決しますか。骨子を記載ください。

①プラットフォームの構築

狙い：「子供の柔軟な発想・アイデア」を貯め、代替不可な価値として保持する。
- 子供であれば誰でも参画できるようにする
- 子供とアイデアを1:Nで紐付けるプラットフォーム・データベースの構築
- アイデアはNFT等で無形だが価値を有する形にしたい
- 特定の国、経済に限定する必要は無いので、非中央集権的に実施したい
- 知財権への抵触が無い機械的に判別するAI（自然言語処理）の仕組みを構築

②アイデアの集積と価値の付与

狙い：アイデアの収益・将来性を投資家が判断
アイデア自体に金額（価値）をつけ、望むアイデアがあれば落札をする。
- 随時募集、ビジネスコンテストの活用
- 特定の人が「優劣」を決めることはしない（誰にとって価値なのかは分からない）
- 投資家によるアイデアNFTの落札、

③富の分配

狙い：NFTの売却益は子供に還元することを基本方針とし、子供自信がチャンスを手にする機会を創出する。
- アイデアNFTが落札された際、考案者とプラットフォームへの参加者（子供）へ落札金額を還元

📌 類似（独創性）：現在、このアイデアと類似する仕組みがあれば記載ください（検索してみてください）

CEOキッズアカデミー https://ceokidsacademy.com/kids_business_contest/

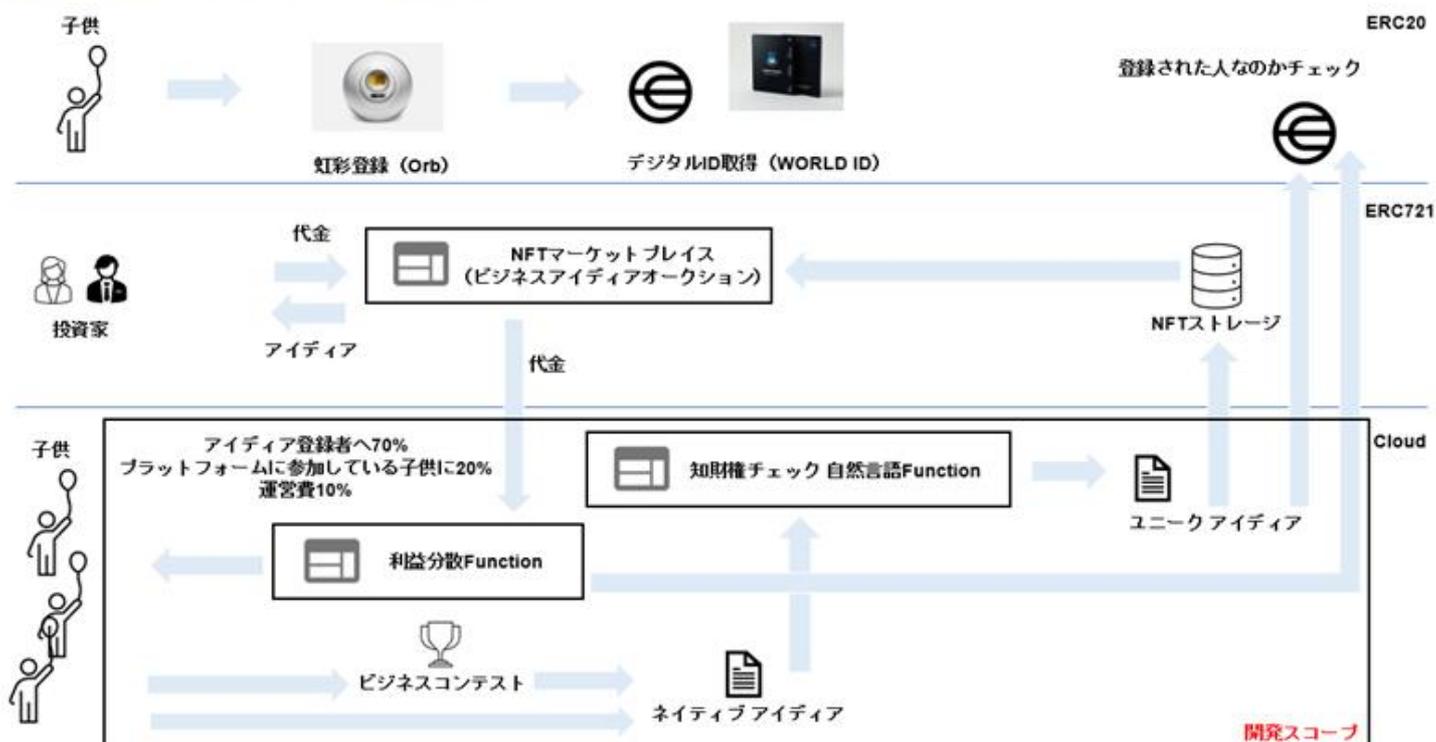
ホンダ <https://global.honda.jp/philanthropy/ideacontest/>

📌 有意性：既に存在する類似の仕組みと比べて、どこが優れていますか（存在している場合のみ記載ください）

- ・単発ではなく連続性・再現性を有する
- ・国地域に限定されないオープンな環境を有する

実現方法：どのように実現するか、できるだけ具体的に記載ください（ファイル添付も可）

代替不可NFTプラットフォーム(全体)



- ・WorldCoinのような成りすましが不可能なシステムと認証機能を構築（子供本人が主役になる）

<https://worldcoin.org/>

まだ検証段階だが、ブロックチェーン上での検証が済めば開発不要となる。

懸念：EU等の個人情報保護が厳しい国が警鐘を鳴らしているため、開発速度をどこまで保てるか未知数

- ・アイデアに金額を付与し、落札を行うNFTマーケットプレイスの構築

<https://nft.rakuten.co.jp/>

ブロックチェーン規格ECR 721であれば実現済みであり、エコシステムとして利用可能

<https://paiza.hatenablog.com/entry/2022/05/25/140000>

また自ら構築する手段もあるが、基本的には既存プラットフォームを流用したい

- ・アイデアを登録、チェック、利益分配のプラットフォームの構築

NFT自体を子供が取り扱うのは難易度が高いため、子供とERC 721のブリッジとなるプラットフォームが必要（独自開発）

開発する必要のあるサービスは

- ・アカウント系
 - ログイン
 - アカウント管理（行動履歴）
- ・アイデア系
 - 登録
 - チェック
 - ブロックチェーン転送
 - NFT化
- ・収益系
 - マーケットプレイスとのAPI I/F
 - 落札感知
 - トークン取得
 - トークン分割
 - トークン配布

課題・障壁：実現する上で課題となることは何ですか、それをどうやって克服しますか

- ・子供（未成年）が利益を得るための活動をする上ため、法的に問題ないか？

<https://www.businessinsider.jp/post-241969>

対策：日本でも実績はあり+弁護士によるリーガルチェックを実施

- ・子供自身がお金を持つことになるため、家庭への還元プロセス・関係性が不透明となる
親が子供をお金稼ぎの道具にしない仕組みづくりはもっと練る必要がある。

↑の逆で、金融リテラシーが低い子供が大金を自由にできる環境を防ぐ仕組みづくりも必要である。

対策：上記仕組みを構築し（例：親から子供へ強制してはならない。など）親に対し同意書、契約書を締結する

 **期間・コスト：実現に必要な費用と期間はどれくらいでしょうか。初期リリースとそれ以降など記載ください**

開発費：50万円

人件費：0円（自身がエンジニアのため）

クラウド利用料：50万円

販管費：400万円

広告・マーケティング：100万円

リーガルチェック、法務コンサル：300万円

期間：6ヶ月

 **未来像：実現したとき、人々がどのように恩恵を受けて幸せになれるか、理想像をお書きください**

利益を生み出すことによって貧困の一部分を解消できるのでは？はもちろんながら

- ・貧困のためチャレンジすること自体できない
- ・学ぶ機会が得られず知識・技術を習得できない

といったことを改善し、子供自身の能力を向上させることによって

「GDPの向上（お金を稼げる高度人材不足を改善）」

「GAFAMのような世界を変えるビジネスの誕生」を期待できると考える。

すなわち、家庭の平均収入の向上、税収の向上による社会保障の拡充。

へと繋がっていき「根本の貧困」を改善する一助になることが理想である。